

豊岡村

地形概況

北部は敷地川・一雲齊川などの流域と山地で、丘陵と段丘に移行する。南部は磐田原台地西縁の急崖以西の低地で天竜川左岸扇状地の扇頭部にあたり、旧河道や旧中州が微地形となっている。天竜川ぞいには砂礫質であるが砂質の堆積地もみられる。

地質概況

掛川層群にあたる半固結堆積岩が丘陵を構成する。倉真層群も断層にはさまれて分布し、砂岩、頁岩からなる。層理を示さない赤褐色に風化する塊状の礫岩も分布する。低地は天竜川扇状地で砂礫層が厚く堆積し、旧流路に泥層もみられる。

気象概況

年平均気温は推定 15.4℃と高いが、冬に季節風が連続して吹くと、空気が乾燥して晴天日が続くため、日照時間は比較的長い。年平均降水量は推定 2,300mm とほぼ県平均値に近く、4月から8月にかけて雨が多い。年平均風速は 3m/秒以下と推定される。

災害事例 地震

- 1944年12月7日（昭和19年）東南海地震 M=7.9
県中西部の被害が大きかった。しかし当地は比較的軽微で南地区で半壊5戸があったほか、家屋の倒壊はなかった。広瀬では道路が地割れし田から水が噴き出した。震度は松之木島・神増・上神増・下神増で5である。
- 1854年12月23日（安政元年）安政東海地震 M=8.4
全県下で被害があったが、当地は下野部・山田などで震度5～6になった。

災害事例 台風

- 1968年8月29日（昭和43年）台風10号
全県下特に西部で風水害が大きかった。豊岡村で1時間最大雨量は51mm(20時～21時)であった。
- 1958年8月25日（昭和33年）台風17号
県の中・西部で被害あり、豊岡で25日の日雨量は330mmに達した。

災害事例 豪雨

- 1962年7月2日（昭和37年）
豊岡で雨量344mmの集中豪雨。
- 1962年7月2日（昭和37年）
豊岡で雨量344mmの集中豪雨。